

令和5年度 第1回博物館協議会 (会議録)

日 時 令和5年5月26日(金) 午後1時30分～午後3時
場 所 安城市歴史博物館2階講座室
出席委員 高山 忠士 会長
加藤りせ子 副会長
松永 博司
荒井 信貴
市川とし子
平岩 政志
事務局 石川 良一 教育長
加藤 浩明 生涯学習部長
邨澤 英夫 文化振興課長
片岡 晃 安城市歴史博物館館長
野上真由美 学芸係長
西島 庸介 専門主査
井上宗一郎 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者
早川 博貴 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体

次 第

市民憲章唱和

- 1 委員辞令公布
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
(1) 令和4年度事業報告
(2) 令和5年度事業計画(案)
- 4 その他

協議事項

- (1) 令和4年度事業報告

事務局	【令和4年度事業報告について説明】
指定管理者	【令和4年度事業報告について説明】

会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	4ページの収蔵資料貸出状況について詳しく教えてください。
事務局	こちらの貸出先の多くは他の博物館で、展示等に際して貸し出しています。貸出時には展示目的・内容のわかる資料とともに申請いただいています。画像提供は昨年度でいえば家康関係が多く、出版物への画像提供や個人の研究目的等が対象になっています。
委員	先日、『広報あんじょう』で博物館ボランティアの常設展示ガイドについて博物館とともに紹介されていきました。20ページの博物館ボランティアの活動状況について教えてください。
事務局	博物館ボランティアの登録人数は20名になります。昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響が強く、高齢のボランティアの方が多いため人の前で話をするのが難しい状況でもありました。教育面では毎月定例会を開いており、特別展・企画展の解説等、適宜学習を行っています。委員の指摘するように活動がやや鈍化している印象がありますが、ボランティア募集は随時行っております。
委員	<p>学校教育の立場からお話させていただきます。新型コロナウイルス感染症も5類に移行して市内すべての小中学校で通常運転に戻りました。</p> <p>職場体験学習はすでに桜井中、篠目中で開始されています。職場体験は県の指導で事前・事後の指導を含めて5日間以内とされています。安城市では30年ほど前から他市に先駆けて職場体験を行ってきており、当時は2日間程度でしたので、昨年度も実施されている通り、3～4日程度が妥当だと思います。ニーズがありましたら、ぜひ受け入れをお願いします。</p> <p>先日、二本木小学校の見学学習に付き添わしていただき、それぞれの担当者に丁寧に説明いただく様子を見せていただきました。一方、マイタブレットを持つ子どものことを考えれば、W i f i 環境さえ整備できれば、タブレットを用いた説明等も可能になります。学校としてありがたいのは学校に整備されたW i f i が博物館でも繋がるようになることです。ただし、現状では外部</p>

の方が同じように使おうとするとパスワードが隠されていて使えません。博物館の役割を考えると、子どもたち以外にも外部の人でもスマホで説明が聞けるなどできると良いと思います。常設展示は一部の資料を除いて撮影可能のものがりますので、人件費を抑えながら案内が工夫してできます。安祥城址公園一帯がそうした機能を持つと、GIGAスクール構想との関わりからも良いかなあとと思います。Wifiを設置することが難しいかもしれませんが、考えていただけると良いです。

次に、生涯学習部の方はわかっておられると思いますが、見学学習のバスのチャーターは教育振興部学校教育課でやっています。生涯学習部として博物館見学学習、プラネタリウム見学がありますので、生涯学習部としてバスをうまく運用すれば、中学校の遠距離利用の対応ができるのではないかと考えました。また、よく使ってくれる学校にはバスが使用できるという発想もあるかなあとと思います。そうしたシステムは市の方が詳しいと思いますので、例えば午前は博物館、午後はプラネタリウムといったように対象となる学年が異なるので難しい部分もありますが、うまくまとめていただけるかを考えていただきたいと思います。また、バスのチャーターは学校教育課から生涯学習部に移しても良いのではないかと考えました。

行政的部分での指導・助言のもとに教育委員会があるということ、安城市の教育とは言えば教員個々の教育方針の努力によって安城市の社会科はこうした内容で進めていると伝えることがあります。安城市教育研究会ではそれぞれの教科で研究を進めています。こうした研究と行政のシステムの両輪があって初めて実現できることもありますが、なかなかうまく理解いただけていないように感じます。社会部の校長をやらせてもらう中で研修が基本であるという考えから、博物館には無理をお願いして、4月最初の研修をやらせていただきました。20ページの学校教育活動への支援の民具資料の貸し出し1件に関わることですが、当日は民具資料をたくさん用意していただきました。ホームページをみるとどういう資料があるかはわかるのですが、現場の先生はそれがどういう使い方をするのかわからない場合もあるので、説明をいただけたことで理解を深めることができました。貸し出し機会が増

	<p>えれば良いと思います。さらに、民具の貸し出しに限らず、貸し出せる資料として教材のパッキング、国立民族学博物館のような貸し出しキッドをパッケージ化することもありなのではないかなあと考えました。あわせて、夏の巡検が再開されますので、遅ればせながら社会部として本證寺を見せていただこうと思っています。社会科の教員であれば行っているのですが、改めて話題となっているところを再検証させていただくことを考えています。</p> <p>学校教育も通常に戻りつつあります。今までの貯金が生かされての入館者の増加に繋がっていると思います。松平シンポジウムに代表されるような地道な研究活動を大事にさせていただき、ニッチという失礼ですが、これまで取り組んでいた部分がこうしてフィットする中で、正直なところ商工課等の力が必要だと思っています。博物館の努力にプラスアルファして、いろいろ整備している間に終わってしまったということがないよう、NHK大河ドラマで三河を去った後にも歴史の掘り起こしをすることでお客様が来たときには喜んでいただけるよう、これまで通り継続的な活動をお願いしたいです。</p>
委員	<p>17ページの市内小学校の6年生見学学習以外の社会科学習・校外学習が記載されています。安城南部小学校の社会科学習があつて、1～6年生まで来ていただいています。他の学校でも歴史のことを深く学びたいという子どもがいるかと思うので、バスでなくても良いのですが博物館への移動手段があると良いです。今後、「どうする家康」に関わる酒井氏、本多氏等の展示も予定されているので、歴史やお城に興味を持つ子どもたちが博物館に来れる体制ができると良いです。</p> <p>18ページの市外見学学習として新川小に来ていただいておりますが、来ていただくだけでなく、こちらから西尾市や岡崎市など周辺市町に展開していくことも大切ではないかと思っています。</p> <p>一生懸命歴史を学びたい子どもたちに対して、いろいろな視点からアプローチを心がけていただけると良いと思います。</p>
委員	<p>本日、東山中学校の見学学習があり、これだけ大勢の人の見学学習はなかなかないので良いことだと思います。創作実習室では本物の土器を触っているところもを見せていただき、こうした内容も大切にさせていただきたいと思っています。見学学習についてはしっ</p>

	かりとカリキュラムを作って運営されているのですよね。
事務局	はい、学校ごとに実施しております。
委員	19ページの出前授業等をみると、老人クラブ系の出前授業が多いようですが、学校への出前授業はどうなっていますか。
事務局	学校からお声がけいただければ実施しています。学校には博物館の学芸係だけでなく、土器づくり等で文化財係職員も対応しています。
委員	<p>民具についても、学校の先生に取り扱いを教える、または学芸員が対応することで、貸し出しを含めた出前授業も実施できるのではないかと考えます。</p> <p>博物館ボランティアは常設展ガイドのみですか。資料の裏打ち等のような部分には手を広げてはいないですか。</p>
事務局	現在のところ、ボランティアの方々には、常設展のガイド、博物館イベントの補助といった部分で活動していただいています。
委員	<p>「家康と一向一揆」は非常に興味深い内容で、「どうする家康」ブームに乗かってしまうと家康びいきの内容になってしまいますが、三河の人々の思いがわかるようなバランスの良い、きちんとした展示になっていました。ただし、古文書に見入ってしまうと混雑してしまうことがあり、展示点数の吟味と、逆に言えばギャラリーを確保してといったことを考慮してやっていただければと思います。</p> <p>松平シンポジウムは広い会場を使っていたら良かったです。館にこだわることはないし、松平シンポジウムは館務実績として加えていただければ良いことなので、できる限り大勢の人に参加できる形が良いと思います。今年度やっていただける場合もそうしたことは考慮いただきたいと思います。</p> <p>今年度は大きな展覧会が続きますが、展示構成は十分検討しないとお客様の印象が悪くなりますので、気持ちよくお客様を迎え入れる環境を整えることも大事だと思います。</p>
委員	<p>「家康と一向一揆」について、私の趣味でもある古文書を読む仲間たちの声を紹介したいと思います。</p> <p>一点目は資料がものすごく多い。他の委員がおっしゃったようにギャラリーの一室も確保できると、もう少しゆったりと観覧で</p>

	<p>きたのではないかとということです。</p> <p>二点目は今回に限ったことではないが、1回では疲れてしまっ て見切れません。私は3回見学させていただきました。できるか どうかはわかりませんが、2回券のようなものを割引した形で販 売することはできないのかなあという意見がありました。2回券 は2回来ていただく場合のほかにもペアで利用いただいても良い ですし、前期・後期で展示替えがあるような場合もありますので そうした工夫があっても良いのではないかとということです。</p> <p>三点目は指定管理者に関わることですが、ミュージアムショッ プの書籍の品揃えがすばらしかったです。草野先生の書籍で私が 狙っていた本が売り切れてしまったわけですが。単なる家康ブー ムに乗った本ではなく学術書を含めた選定でしたので、今後もお 願いします。</p>
委員	<p>指定管理者が発信しているSNS等で「いいね！」の数等、反 響はどのくらいありましたか。</p>
指定管理者	<p>NHK大河ドラマで一向一揆が取り上げられた期間は非常に多 かったと思います。どのくらいの人に届いたかというリーチの数 では1万までは行きませんでした、かなりの数いきました。</p>
委員	<p>安城市のSNSより多いのではありませんか。どれだけの人の 目に触れ、興味を持っていただけるかだと思います。指定管理者 の活動の中に普段の見学学習等を取り込み、トータルで博物館活 動が進められていけると良いと思います。勤務時間の問題もある とは思いますが、大河ドラマの放送時間に合わせてSNSで発信 いただけると、ごり押しはいけませんが安城市がおもしろいこと をやっていると思っていただけるのではないのでしょうか。指定管 理者さんに早い時点から発信いただけたことでリーチの数等に繋 がっているのだと感じます。</p>
委員	<p>岡崎市も観光客が増えていますが、大河ドラマだと思っていた ら東海オンエアの影響だと言うことでした。こうした点からみる と、さまざまなことを組み合わせていくと相乗効果で進んでいけ ると思います。指定管理者が丹念な広報ができていますので、今後 も学芸サイドがアイデアを共有して一緒に考えていただ ければと思います。</p>

委員	<p>ボランティアでは大河ドラマ効果が抜群で一向一揆の回からそれまで本證寺に訪れる人が100名程度から500～600名ほどに一気に増えました。土日祝祭日のみボランティアガイドとしていましたが、平日も多くの方に来ていただき、突如呼ばれて対応することもたびたびありました。今後は家康が浜松に行ってしまったので少なくなるのかと予想していましたが、県外のバス旅行は6～7月が多くなるようで今からも増えていきそうです。ボランティアガイドも半年経ち、説明の内容もまとまってきましたので、酒井氏・本多氏の展示が良いタイミングにありますので、ぜひ協力させていただきたいと思います。</p> <p>一つ気づいたことは1万人を超えた「家康と一向一揆」は、中にお客様イコール安城城のガイドを活用するわけではないということです。市外・県外から特別展をご覧になるお客様は基礎知識がある方で、ボランティアガイドの説明を受けなくても大丈夫という方が多く、本證寺の方とは少し客層が違う印象があります。</p>
会長	<p>他によろしいですか。無いようですので、次に移ります。</p> <p>「(2) 令和5年度事業計画(案)」について、事務局からの説明をお願いします。</p>

(2) 令和5年度事業計画

事務局	【令和5年度事業計画(案)について説明】
指定管理者	【令和5年度事業計画(案)について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	<p>27ページの重点努力目標をみると、「一般の人にわかりやすい解説」とあります。酒井氏、本多氏は子どもたちにも興味があります。古文書は私たちでも飛ばしたくなる気持ちがわかりますが、解説キャプション以外に子どもでもわかるような解説を付けていただけるとありがたいです。わかりやすい言葉になおすということは学校の先生が得意だと思うので、協力してやっていただけると良いのかもしれない。</p>
委員	古文書では翻刻を記すだけでなく、直訳や意識のほかに、さらに自然な言葉で訳す「超訳」という方法もあります。現代語でや

	<p>り取りしたような展示もありますので、できるかどうかは別として、考えてやっていただきたいと思います。「家康と一向一揆」の古文書で渋滞してしまった要因は翻刻文が小さかったことかと思います。翻刻は必要なのですが、一般の人にわかりやすいこともできる範囲でやっていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>できる範囲でというのは難しいと思います。安城譜代1・2は二本続けてやることは非常に大変なことです。展示の空いた期間が2週間ちょっとで返却から貸出を並行していくことは難しいことです。わかりやすい解説については、館全体で手分けしてやるということで、そうした体制作りが必要だと思います。専門的なものではなく受け手がいるわけで、見る側の視点として学芸員以外の方も考えている部分があると思いますので、そうした目で一緒になって展示を見直してみるということも大事だと思います。この展覧会2本は「やぐるう」ものになりますので、博物館全体で協力してやっていく展覧会になると思います。他の皆さんにもよろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>指定管理者から説明いただいた自由研究について学校分野からお話させていただきます。</p> <p>昨年度より高校入試が変わり、推薦入試以外にも特色選抜という市や県などの科学的な分野での特色推薦の対象となり、評定評価に関わらず受けることができるとなりました。社会科関係の自由研究は減ってしまうと思っていましたが、中学生にコアなファンを積み重ねてきたということもあって、前年よりも応募作品が増えました。今年度については学校教育課の方で「かがくのひろば」が説明されたので「歴史のひろば」についても口頭で説明されていたので、校長連絡会でも私の方からお願いしました。自由研究相談会についても定例校長会でも説明されると思いますが、社会科研究会70名には文化財係から説明いただけることになっていますので、応募が増えるように進めていきたいと思っています。ただし、コロナ禍の折に自由研究自体をやめてしまった学校があるので、そちらについては今後どうするのかを質問していきますが、出てこない可能性があります。また、自由研究の内容は学校生活を含めたもので、夏休みに限定しないものになってきていますので、今後も動向を報告させていただきます。</p>

	<p>新川小学校が見学に来られていますが、私の究極の目標は碧海五市、矢作川流域の市町と協力することです。最近、刈谷市は東浦町と仲良くしていますが、家康との関係では広く巻き込んでいけるとおもしろいと思います。指定管理者がこれまでもやってこられていますが、酒井さん割引をはじめおもしろい考えられた割引企画もありますので、さらに近隣館と協力してやっていただければ良いと思います。</p>
委員	<p>常設展示室では弥生時代ぐらまで英語とポルトガル語の表記がありますが、それ以降はありません。また、縄文時代の日本語解説文と外国語表記で内容が異なっています。多言語化についてはどのようにお考えですか。</p>
事務局	<p>多言語化については手が回っていないのが現状ですが、課題として十分に認識しておりますので、長い目で見守っていただければと思います。</p>
会長	<p>無いようですので、これをもちまして協議事項を終了いたします。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>慎重審議、どうもありがとうございました。</p>